

# 五輪需要高まる

## 地方銀行フードセレクション



国内最大級の地方創生型商談会「地方銀行フードセレクション」が8、9日に東京ビックサイト(東京都江東区)で開催され、2日間で前回比10・7%増の1万2436人が各地の農畜産物有

名ブランド、オーガニック食品、グルテンフリー関連商材など世界的なトレンド商材も集め、多種多様な食材・商品が展示されたブースで熱気のある商談が行われた。

東京ビッグサイト西1・2ホールに設けられた「東北」「関東・甲信越」「北陸・東海・

## 1万2436人が来場

関西・中国」「四国・九州・沖縄」の4エリアには各銀行名が入ったのぼりが立ち並び、法被姿の行員が取引先企業担当者や協働し新商品や基幹商品の試食・PRを行った(写真)。餌にこだわった牛豚鶏肉とその加工品、キノコ類、野菜・果物の新品種とジャムやドレッシング、市販柿などドライフルーツ、エゴマ油、特別栽培米の新品、雑穀、フカヒレなど日本ブランドの魚介類、アオサなど海藻、甘酒・味噌・漬物など発酵食品、各地を代表するそうめん・うどん類、茶、国内外のコンクール受賞のワインや日本酒、クラフトビールをはじめとした多種多様な地域産品が並ぶブースは試食・試飲でにぎわい、名刺交換と商談も活発に行われた。

アトリウムにはバイヤーがいち早くチェックできる「新商品展示コーナー」が設置され、隣接する「個別商談会コーナー」では首都圏の有力バイヤー80社151人を集め、619商談が実施された。出展社同士の商談も初開催され、同展が継続して取り組む震災復興企画として東日本大震災、熊本地震の被害に遭った出展社の商品展示も実施された。こうした複層的な施策が奏功。出展企業からは「もともと目的意識が高いバイヤーが多い商談会だが、今年は特に真剣味を感じる」(農業法人)、「ここ最近問い合わせが急増していたが、この商談会ではオーガニックカレーの引き合いが格段に多い」(フパイスメーカー)と驚きを見せた。

東京オリンピック・パラリンピック選手向けの食料探しが活発化しており、会場でもその様子がうかがえた。

開会式には安倍昭恵首相夫人、遠藤俊英金融庁監督局長が登壇し祝辞を述べた。昭恵夫人は安倍晋三首相が地方創生を推進することの商談会の取組みへの感謝の意を紹介し「地方には地元の人々の気付き、これをもっといいものに」と期待感を述べ、遠藤局長は「地方銀行は寄り添い、企業の価値向上にさらに対応を」と呼び掛けた。

(山田由紀子)